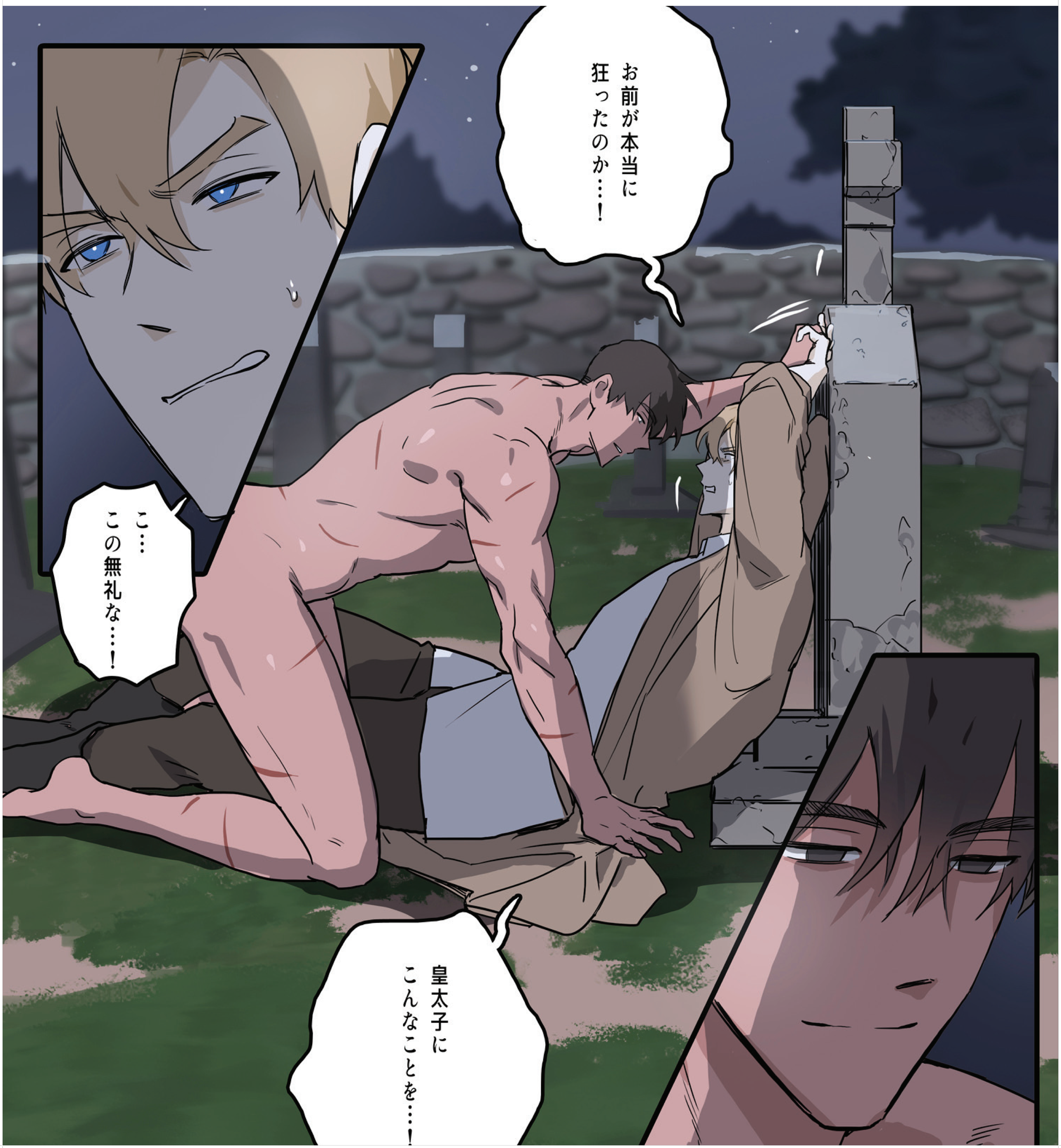
お前が本当に狂ったのか…！
こ…この無礼な…！
皇太子にこんなことを…！

一時間前

飽きることもなく
再び勇士の村に
やってきたカーアル

いくら待っても勇士が
現れないので、
カーアルは村を
徘徊しながら彼の
ところを歩き回った

あいつはどうして
こっちに家に
くっついていないんだ！

会ったら
こらしめてやろう

夜中に共同墓地まで
こさせるなんて…

偶然に会うね
お、勇者か

仕事があってこの
辺を通りかかった

いざ勇士を見ると、
嬉しくて腹が
立ったことを忘れた

!!!

あの後頭部は
間違いない勇者だ…！

しかし勇士は
まともな状態では
なかった
茶目っ気たっぷりの
夜の精霊に
魅せられていたのだ

然して現在

クッ…
こ、この仕事は…

な、なにを…

슙

슙

할짝

할짝

うっ…

ただでは
済まされないだろう…！

うっ…
や、やめろ…！

この…
下品なやつ…！

あっ…！
はぁ…
この…
この淫蕩な
勇士があえて…！
あえて…！
あ…！
아♡
아♡
아♡
아♡
덜렁♡
덜렁♡
フウッ…
ウッ…
こいつ…
ウッ…
ズ꼿
ズ꼿
ズ꼿
ズ꼿
ズ꼿
ズ꼿

ゾクッ
팡
ぐぎぎぎ
팡
主導権を
奪われはしない…！
クッ…
ゆ、勇者なんかに
쯔읍
ぐぎぎぎ
팡
쿠쿠쿠
쿠쿠쿠
팡
팡
カアルは怒って勇士の
奥深く柔らかい部分を
重ねて押し上げ、勇士は
強い刺激に下品に性器を
振りながら何度も絶頂した

しばらくして正気を
取り戻した勇士は
自分が何をしたのか悟った

…

…
……

…
……
……

피슷
찍

勇士が切に許しを
請うと、カーアルは
なぜか腹も
立てず許してくれた

END